

課題、ポテンシャル、機能の整理（案）

課題のまとめ

■板橋公園内の課題

<施設の課題>

- ・乗り物（ゴーカート等）が、時代に対応していない。
- ・施設の老朽化（都電、都バス、子どもの池、管理事務所など）
- ・バリアフリー対応が、不十分
- ・駐輪場が不十分
- ・球技ができる場所がない。

<空間の課題>

- ・施設が交通に特化しているため、他の魅力に欠ける。
- ・静かに憩える場所がない。
- ・利用者の導線がぶつかる場合がある。

<維持管理の課題>

- ・樹木の生長（→落ち葉、見通しが悪い）
- ・夜間の騒音
- ・トイレが汚い、ゴミの散乱

<利活用の課題>

- ・交通教室が行われていない。

<計画の課題>

- ・公民の役割分担をどうするか。
- ・カフェなど単体施設では、収益が期待できない。
- ・民間に委託すると、住民との関わりが薄れる懸念がある。
- ・付替え道路で敷地が分断され、利用者の安全確保ができない。
- ・工事期間中（2か年）、地域のイベントができない。

■板橋公園周辺エリアとしての課題

<アクセスの課題>

- ・駅から遠く、バス停も近くに無い。
- ・駐車場は作れないため、車での来園は不可能

<エリアマネジメントの課題>

- ・大山の再開発エリアに、板橋公園の位置づけがない。

<地域の課題>

- ・商店街が付近に無いため、高齢者が買物難民となっている。
- ・隣接する都営アパートの広場が空間的に分離していて、利用者も少ない。
- ・大山小移転による防災機能の代替が必要

ポテンシャルのまとめ

■板橋公園内のポテンシャル

<交通のポテンシャル>

- ・長年にわたり自転車の練習などで親しまれている。
- ・自転車の活用を国が推進しており、練習や教育の場としてニーズがある。
- ・回遊するコースがある。

<交流のポテンシャル>

- ・時間帯によって、多様な利用がされている。世代のすみ分けがある。
- ・様々な地域のイベントが開催されている。
- ・公園の清掃や、シルバーなど、維持管理に携わる人たちがたくさんいる。

<空間のポテンシャル>

- ・大山小跡地の原っぱが、すでに保育園やピクニックに活用されている。
- ・季節を感じる樹木がある。

<計画のポテンシャル>

- ・建ぺい率の割り増し（P-PFIの場合）
- ・公民連携により、新たなサービスを提供できる。

■板橋公園周辺エリアとしてのポテンシャル

<地域のポテンシャル>

- ・地域の情報発信力が高い。
- ・地域のコミュニティがしっかりしており、公園で活動している人がたくさんいる。
- ・保育園、老人ホームが隣接しているため、花づくりなどへの参加が期待できる。
- ・付近に大きな公園や緑地が無いいため、地域の憩いの場としてのニーズが期待できる。

<アクセスのポテンシャル>

- ・補助26号線の整備により、板橋公園を中心に東上線、三田線、副都心線をつなぐ導線ができ、周辺の公園や再開発エリアへの移動の軸となる。
- ・将来、東西を結ぶバス路線ができる可能性がある。
- ・シェアサイクルを活用できる。
- ・ピッコロスクエアからは「あと6分」で来られる距離になる。

継承すべき機能と新たに付加する機能

■継承すべき機能

<交通機能>

- ・自転車の練習
- ・交通教育の場

<ひろばの機能>

- ・地域イベント、保育園のお散歩、ピクニック等の場

<遊び場の機能>

- ・幼児用遊具
- ・水遊び施設

<集会所機能>

- ・集会施設

<防災機能>

- ・避難空間、防災倉庫等

<地域の歴史や季節を感じさせる景観>

- ・シンボリックな樹木（メタセコイア、ケヤキ、サクラ等）

■新たに付加すべき機能

<新たな交通機能>

- ・子どもがワクワクするような新しい乗り物体験やデザイン
- ・高齢者や障がい者をサポートする移動手段と、その体験（インクルーシブ）

<多世代の交流機能>

- ・飲食サービス（キッチンカー等）
- ・周辺の高齢者が家から出るきっかけとなるような仕掛け（移動販売等）
- ・区民が楽しく参加できる、花の風景づくり
- ・区民活動やイベント、講習会にも活用できる集会所の整備

<新たな空間づくり>

- ・散策やジョギングで気持ちよく回遊できるウォーカブルな園路
- ・ベンチでくつろいだり、読書したりできる静かな憩いのエリア
- ・花とみどりと交通が融和するトータルなデザイン